

こころつなぐ日野南

日野南地区

化したりと、地域の人々のつながりを大切にしたい取り組みを数多く行ってきました。

今回の振り返りを通して、世代を超えた交流や顔の見える関係ができてきたといった、地域の人々のつながりづくりに関する手ごたえを感じられたようです。また、活動の担い手の確保や見守りの一層の強化など、今後の取り組みの課題を再確認できたようでした。

日野南地区は、高齢化が急速に進む中、地区全体で見守り活動の共有や防災の取り組みを行うなど、地域で一体となり活動を進めてきた地区です。日野南連合自治会、日野南小学校等17団体による学童のお楽しみ会を開いたり、緊急時の向こう三軒両隣の協力を強化

熱心に資料を読む皆さん。

時には笑いが起こることも。



参加者の声

世代の違いにとらわれない地域の交流が進んできたと感じます。

発展する上大岡

つながりあい・支えあえるまちづくり

上大岡地区

がつながるきっかけになったり、情報共有が進んだりしました。

今回の振り返りでは、新たに始めた取り組みや継続してきた活動を再確認しました。「上大岡まつり」の開催が地域のつながりや若い世代の活動の場づくりにつながったことや、防災訓練を実施したことによって避難場所の活用方法が住民に広がったことなど、手ごたえを感じられたようです。

上大岡地区では、災害対策委員会を立ち上げ、いっとき避難場所を13か所設置したり、連合町内会・地区社協で第1回「上大岡まつり」を開催したりと、新たに取り組みを進めてきました。また、「みんなで上大岡を考える会」は、地域の皆さん



これまでの活動の成果について多くの意見がありました。



参加者の声

- 行事や話し合いに様々な人を取り込んでいくことが大切だと思いました。
- それぞれの団体が頑張っていると実感できました。

さわやかに さえあう げんきなまち

笹下地区

笹下地区は、それぞれの自治会町内会で地域特性に合わせて活発に活動を行っている地区です。また、子どもが多く参加する防災キャンプやささげ祭りなど、笹下地区全体でも多くの取り組みを行っています。今回の振り返りでは、これらの多くの活動を継続してこられたことや、若い世代を地域の活動に取り込んでいく工夫などについて再確認できたようです。

笹下地区は、それぞれの自治会町内会で地域特性に合わせて活発に活動を行っている地区です。また、子どもが多く参加する防災キャンプやささげ祭りなど、笹下地区全体でも多くの取り組みを行っています。今回の振り返りでは、これらの多くの活動を継続してこられたことや、若い世代を地域の活動に取り込んでいく工夫などについて再確認できたようです。



参加者の声

- 地域のことについてじっくり話し合うことができました。
- 地道に取り組んでいることがたくさんあると気付くきっかけになりました。
- 地域の活動をまとめる良い機会になりました。

今回の振り返りで地域の取り組みを共有しました。



平成25年度 地区別計画推進研究会を開催!

第2期港南区地域福祉保健計画策定から3回目となる今回の研究会のテーマは、地区別計画の「振り返り」。「芹ヶ谷」「野庭住宅」「港南台」「ひざり」の4地区で行われた中間振り返りの発表を参加者全員で共有したり、区内15地区それぞれの地区別計画の振り返りで確認しあえたことや得たものについて4つのグループに分かれて意見交換を行いました。



15地区の様々なノウハウを持ち帰り各々の地域の活動に還元してもらえようように地域の福祉保健活動のまとめ役をしている方々に参加いただきました。

今回のコーディネーター 田園調布学園大学の村井教授



芹ヶ谷地区



野庭住宅地区



港南台地区



ひざり地区

各地区の中間振り返りの発表



グループにわかれての意見交換



グループ毎に話し合った内容を発表

参加者の声

- 参考になる点があり、じぶんの地域でも取り入れたい。
- 「担い手の確保」という共通の課題が見えてきた。

●研究会で見つけたキーワード●

今回も研究会のコーディネーターとしてお越しいただいた田園調布学園大学の村井祐一教授と、各地区の活動の良い点や特徴、課題などを整理していくと、「子ども」「防災」「活動の担い手の発掘」といった共通のキーワードが浮かび上がりました。このキーワードは、これからの活動のヒントであり、振り返りの場や、意見交換のときに皆さんの声から生まれたものです。「振り返り」から見えたきた地域の強みを活かしながら、活動をどのように発展できるか、どのように地域の課題に取り組んでいくとよいかなど、第2期港南区福祉保健計画の後半2年の集大成に向けて、皆さんと共に考えていきたいと思ひます。